



全国釣竿公正取引協議会 第162回理事会 議事録

1. 開催日時 令和2年9月10日(木) 14:00~17:00

2. 開催場所 オンライン会議システム (Zoom)

3. 議 事

(1) 定足数確認

理事総数 12名・監事総数 2名

<オンライン会議出席者数 理事11名・監事2名>

会 長 藤井 治幸 (株式会社がまかつ)
副 会 長 鈴木 隆 (株式会社リチャーズ)
専務理事 小松 智昭 (全国釣竿公正取引協議会)
理事(会計) 橋本 俊哉 (株式会社エバーグリーンインターナショナル)
理 事 鈴木 健一 (株式会社上州屋)
理 事 塩澤 直人 (株式会社天龍)
理 事 櫻井 孝行 (櫻井釣漁具株式会社)
理 事 谷山 令一 (谷山商事株式会社)
理 事 加藤 慶太 (株式会社ジャクソン)
理 事 鈴江 浩康 (グローブライド株式会社)
理 事 保井 利彦 (株式会社シマノ)
監 事 玉越 和夫 (株式会社スミス)
監 事 姫野 哲司 (株式会社ティムコ)

<委任状出席 理事1名>

理 事 宇崎 隆 (株式会社宇崎日新)

(2) 議長選任

会則第21条により、藤井 治幸 会長が議長に就任し議案審議については、オンライン会議システム Zoom にて行った。

(3) 議決権、意見表明方法

オンライン上で、理事は議決権を行使、監事は意見表明を行った。

(4) 議事録の確認

第36回定時総会

第1号議案 役員を選出について
第2号議案 第36期(令和元年度)事業報告について
第3号議案 第36期(令和元年度)決算報告について
第4号議案 第36期(令和元年度)監査報告について
第5号議案 第37期(令和2年度)事業計画(案)について
第6号議案 第37期(令和2年度)収支予算(案)について
第7号議案 その他

第161回理事会

第1号議案 第36期(令和元年度)事業報告について
第2号議案 第36期(令和元年度)決算報告について



第3号議案 第36期(令和元年度)監査報告について

第4号議案 その他(報告事項)

なお、詳細については議事録の確認(令和2年7月7日付 釣公取協第19号文書)をご覧ください。

(5) 第162回理事会議事録署名人の選出

会則第23条の規定により、藤井会長、谷山 令一 理事、保井 利彦 理事が就任することに同意した。

4. 議 案

第1号議案 第160回・第161回理事会について<報告事項>

資料に基づき事務局が、書面開催となった第36回定時総会、第160回・第161回理事会の内容につき報告を行った。また、2019年度釣竿公正マーク周知広報ポスターにおけるポスター画像のライフジャケット本体に、検定合格品であることを証する証印(いわゆる桜マーク)の誤った使用に関する報告及び今後の対処方法につき説明を行った。2020年度秋冬版ポスター配布時にも、「2019年度版ポスターは破棄」をお願いすることを報告した。

第2号議案 8/19第44回調査指導委員会開催報告について<報告事項>

資料に基づき事務局が、8月19日(水)にオンラインにて開催した第44回調査指導委員会について報告を行った。本年度の調査事業のうち、会員対象調査及び実地調査(店頭調査)について、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止とすることを決定した。会員には、調査中止の案内をお送りし、引き続き公正競争規約の遵守をお願いするとともに、これまで間違いの多かった表示例とその改善例を添付することとした。

次年度以降の調査事業については、実施できる方法を委員会にて引き続き検討していくこととした。

第3号議案 令和2年度期中(4月~8月)収支状況報告について<報告事項>

資料に基づき事務局が、令和2年度期中(4月~8月)の収支報告を行った。

| | | |
|----------|-------------|---------|
| 正味財産合計 | 36,020,364円 | |
| 事業活動収入 | 942万円 | 対前年100% |
| 事業活動支出計 | 614万円 | 対前年80% |
| 事業活動収支差額 | 328万円 | 対前年184% |

事業活動収入について

| | | | |
|-----------|--------------|------|---------|
| 証票(シール)収入 | 警告表示シール | 5万円 | 対前年比14% |
| 審査手数料収入 | (認定書発行枚数86枚) | 17万円 | 対前年比60% |

事業活動支出については、新型コロナウイルス感染症への対応から中止となった事業があり、昨年度に比べ支出が減少した。

第4号議案 周知広報について<承認決議・報告事項>

資料に基づき事務局が周知広報について承認決議を求め、また報告を行った。

①雑誌広告<報告事項>

代理店経由で出稿を行った雑誌1誌への広告について一部表示されないで掲載されたことを報告した。

②2021 年度釣竿公正マーク周知広報ポスターモデルについて<承認決議事項>

2021 年度ポスターモデルについて、「継続」「アングラズアイドル 2021」「役員各社からの推薦」の 3 者で検討を行った。質疑応答の後、「アングラズアイドル 2021」を 2021 年度ポスターのモデルとすることを議長が議場に諮ったところ、満場意義なく承認された。

③2021 年度釣竿公正マーク周知広報ポスターのスタイルについて<承認決議事項>

ポスターのスタイルについて、「公正マーク」「キャッチフレーズ」の大きさの検討を行った。質疑応答の後、従来通りの大きさを「公正マーク」「キャッチフレーズ」を配置することにつき、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく承認された。

④フィッシングショーオンライン開催への出展について<承認決議事項>

オンライン開催への出展につき、展示内容の検討を行った。

④-1 釣り人向け

- ア) 公正マークの機能紹介
- イ) 公正マークの信頼を裏付ける調査事業
- ウ) 釣竿による感電事故防止啓発

④-2 メーカー向け

- エ) 製品表示のコンプライアンス対策
- オ) 公正マーク貼付による差別化

④-3 アンケートの実施

アンケート回答者の中から抽選でノベルティなどのプレゼントを行う。アンケート内容及びノベルティ等の内容は、次回理事会にて検討することとなった。当協議会がオンラインフィッシングショーに出展が可能となった場合、上記のように展示、アンケート及びノベルティ等のプレゼントを行うことにつき、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく承認された。

⑤2020 年度秋冬版ポスター配布について<報告事項>

10 月上旬をめどに、会員、役員、調査指導委員会委員へポスターを発送し、貴社内、貴社イベント等での掲示、貴社関係先への配布をお願いした。また、配布の際には「2019 年度ポスターは破棄」していただきたいとお伝えいただくこととした。

また、2020 年度ポスターの配布状況について、2021 年度発行の基礎資料としたいため、配布枚数、配布地域（都道府県）、主な配布先（具体的な配布先）、貴社・貴社イベントでの掲示の状況等を確認させていただくこととした。

⑥会員企業 SNS における公正マークの告知について<承認決議事項>

昨年 12 月 25 日に役員企業で実施した SNS 一斉告知を全会員企業をお願いすることとした。実施日時は 11 月 30 日（月）11：30 とすることを説明した。議長が議場に諮ったところ、満場意義なく承認された。

第 5 号議案 公正マーク使用に関する申請手続きの電子化について<報告事項>

資料に基づき事務局が、現状の申請方法について調査を行い、申請しやすい方法を検討するため、役員企業各社に意見を伺うことを報告した。

第 6 号議案 その他

資料に基づき事務局が、承認決議を求め、また報告を行った。

①令和元年度比例会費について<承認決議事項>

提出を求めたものの、令和元年度売上高報告書が未提出の会員企業に対して、会費

規則第3条を基に以下のように売上高を算出したことを報告した。

ア) 平成30年度売上高報告書提出のある会員は、平成30年度比例会費同額

イ) 平成30年度を含め売上高報告書提出のない会員は、基本会費同額

質疑応答後、議長が議場に諮ったところ、満場意義なく承認された。

②12/10(木)第163回理事会について<報告事項>

次回理事会については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催1か月前をめどに大阪会場もしくはオンライン会議のいずれかで開催することを報告した。

なお、令和2年度の調査事業が中止となるため、釣竿の表示に関する調査報告会は開催しない。

③10/15(木)中間監査について<報告事項>

中間監査については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催2週間前をめどに日本フィッシング会館もしくは書面及びオンライン会議のいずれかで開催することを報告した。


以上をもって第162回理事会の全部の議案審議が終了したので、藤井会長が挨拶を行い、閉会を宣言した。

令和2年9月10日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、押印する。

全国釣竿公正取引協議会 第162回理事会

議長理事 会長 藤井 治幸

藤井 治幸 

議事録署名人 理事 谷山 令一

谷山 令一 

議事録署名人 理事 保井 利彦

保井 利彦 